



# 長野県難聴児支援センター ニュースレター

平成29年  
第12号

長野県保健・疾病対策課

信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科



遠足や音楽会。子どもたちも学習や行事など、深まりを迎える「実りの秋」ですね。  
先日訪問させていただいた小学校では、1年生が国語で「カタカナ」の学習をしていました。「『メ』のつくことばを集めましょう！」先生の提案に、しばらく考え込む子どもたち。そして…「メロン!」「メキシコ!」よく考えていますね。「メラメライオン!」ん?妖怪ウォッチかな。そして、ある子が「ミルク!」と発言…ん?!先生に促されて、その子はもう一度少し戸惑いながら「メック(milk)」と発表してくれました。なるほど…。幼児期から英語に親しみ「耳から」学ぶ子どもたち。大きな可能性とともに「発音と表記」についてもみんな考えていきたいと思います。



## 「新生児聴覚スクリーニングからの支援『フォローアップ』」

新生児聴覚スクリーニングによって「要再検査」となった保護者の方には、「育児支援連絡票」を活用いただいております。

「『要再検査』とはどういうこと?」

「次の検査までに何をしたらいいの?」

病院で詳しく説明してもらっていても、なかなかその場では冷静になれなかったり、家に帰ってから家族に伝えようと思った時に困ってしまったり…。このような保護者の不安や相談をお聞きし『次へ』とつなげること、また、そうした情報を病院や市町村の保健師さんと共有するが早期発見を支えるフォローアップになっています。

**今年度『フォローアップ』件数 17件**

(平成29年9月現在)

この連絡をもとに、困ったときの相談窓口(その子と家族の応援団)になっています。

引き続き「連携」をよろしくお願い致します。

様式⑥ 支援連絡票 (保護者・新生児聴覚スクリーニング機関→難聴児支援センター)

### 新生児聴覚スクリーニング

#### フォローアップの同意書・育児支援連絡票

新生児聴覚検査で要再検査となったお子さんとご家族のフォローアップのため下記の連絡票を長野県難聴児支援センターに連絡することに同意いたします。

(この連絡票をもとに、市町村の保健師さんとも連携していきます)

※お子さまとご家族のプライバシーを守ることは、十分な配慮を致します。

お子さんのお名前 (おまっぴいなら)	平成 年 月 日 生	(男・女)
保護者のお名前		
保護者住所	電話番号	- -
出生時の状況	在胎週数( 週)	出生時体重( g)

【医療機関にて記入】

医療機関: \_\_\_\_\_

担当者 職・氏名 \_\_\_\_\_

結果	平成 年 月 日実施 新生児聴覚スクリーニングにおいて(右・左・両側)が要再検査でした
合併症の有無	無・有( )

紹介した2次検査機関: \_\_\_\_\_

「長野県新生児聴覚検査ハンドブック」より



## 「第4回ファミリーセミナー」開催

9月23日（土）ファミリーセミナーを開催しました。今回お招きしたのは、先輩のお母さん；立花祐子さんです。現在小学6年生になるお子さんと歩いて来られた道のりを、正直に、具体例を交えながらお話しいただきました。

- ・難聴が分かってからの不安や葛藤
- ・人工内耳をして初めて音と出会った瞬間
- ・いろいろな音を探して聞かせた乳幼児期
- ・就園や就学での迷いや我が子への願い
- ・子どもと相談しながら歩んでいる現在

等々

立花さんのお話のあと、参加者全員で質問も交えて「思い」を語り合うことができました。

地域の乳幼児健診や人が集まる公園などで、どうしても「比べる」思いがでてしまう…。兄弟がいるので、その子とのかかわりや思い、どのような心配りをしたか？ 周囲への理解や学校での配慮など、どのように働きかけてきたか？

等々

まだまだ不安や葛藤の中にお母さんが、「気持ちの整理がつかなくて…」と現在のお気持ちを話していただいたり、「次の子ども」を考えたときの迷いなど、先輩のお母さんだからこそ聞けるお話しもありました。「育てていけるか自信が…」と、声を詰まらせるお母さんもいました。お一人お一人の思いや悩みに、親身になって共感していた立花さんから、最後にこのようなことばをいただきました。

「今こうして振り返るとみなさんにお話しできることもありますが、私も正直『自信』があったわけではありませんでした。迷ったり困ったりしながらその時その時を一生懸命考えて、決断してきました。主人と（今は息子とも）相談したり、お医者さんやこうした『つながり』を大事にしたりすることが、大きな支えになりました。『一人じゃない』ですよ。」

立花さんからの「優しさと思い」が伝わり、参加いただいた方々が「前を向くエネルギー」を蓄えた貴重な時間となりました。

普段は一人ひとりそれぞれの地域にお住まいのご家庭ですが、月に一回このセミナーで顔を合わせているうちに仲良くなり、子どもたちも「つながり」が生まれています。

この「仲間」が嬉しいですね。※次回は11月18日（土）





## たのしい「歌あそび・ことばあそび」のご紹介

ファミリーセミナーで立花さんから、「家庭で音楽やことば遊びを積極的に楽しんだ」というお話をいただきました。訪問させていただく保育園などでも、いろいろな「手遊び・ことばあそび」を見せていただいています。そんな中からいくつか「たのしいことばあそび」をご紹介します。

### ♪ひげじいさん



#### 【あそび方】

「トントントン ひげじいさん(顎)  
トントントン こぶじいさん(頬)  
トントントン てんくさん(鼻)  
トントントン メガネさん(目)  
トントントン 手は上に  
キラキラキラキラ 手は〇〇に」

※「〇〇」は「おひざ」「おしり」など

#### 【ここがミソ!】

子どもたちが大好きな手あそびうたですね。この「トントン」という繰り返しは、聞きやすく声に出しやすいことばです。相手と一緒に、相手と同じ動きを楽しむことは「模倣する」楽しさの入り口。ことばをまねる入り口にもなります。

そして、このあそびの秘密はバリエーションの豊かさ。「びよ〜ん」と手を伸ばす動きを楽しんだり、同じリズムで「アンパンマン」「ドラえもん」など好きなキャラクターを楽しむこともできます



### ♪お〜ちた おちた



#### 【あそび方】

リーダー「♪お〜ちた おちた」  
子ども「♪な〜にが おちた？」  
リーダー「リンゴ！」  
子ども：両手を前に出す(受け取る動作)

※「雨」；傘を差すポーズ  
「カミナリ」；おへそを隠す  
「天井」；両手を上に踏ん張る 等

#### 【ここがミソ!】

「ことばは脳で聴く」と、よく言われます。リーダーの「雨！」ということばに「ア・メ」と真似るのではなく、「雨→濡れる→傘をさす」という一連のイメージができることがとても大切。きこえたことばを考える。行動する。時には間違えたっていい！これが「あそび」のいいところ。

バリエーションとして「な〜いた 鳴いた」で「ブーブー(ブタ)」と動物の鳴きまねをしたり、「ク〜イズ クイズ」「な〜んのクイズ？」でスリーヒントクイズをしたりと応用もききます。



### ♪やおやの おみせ



#### 【あそび方】

「♪や〜おやの おみせにならんだ  
し〜なもの みてごらん  
よくみてごらん、かんがえてごらん」  
リーダー「トマト」 子ども「あるある！」  
リーダー「にんじん」 子ども「あるある！」  
リーダー「まくら」 「あいませ〜ん！」

※歌をうたって繰り返す

#### 【ここがミソ!】

「物の名前」を覚えた子どもたちは、物の属性(上位概念)を知ることで「ことばの整理」ができるようになります。「ことばの引き出し」ですね。この引き出しへの出し入れがスムーズになると、学んだことを整理したり活用したりする力につながります。「あるある！」の声を合わせるのも楽しいあそびです。

別バージョンとして「暗記力」を鍛える遊び方もあります。一人1つ、必ず前の人たちが言ったものを言ってからひとつ付け足す。これも面白い。





## 後期 第1回 ファミリーセミナーのご案内

### 耳のしくみ 難聴の診断と治療

- 1 日時 平成29年 11月18日(土) 15:00~16:30
- 2 場所 長野県難聴児支援センター (松本旭町庁舎2階『多目的室』)
- 3 講師 **宇佐美 真一教授** (信州大学附属病院耳鼻咽喉科教授・難聴児支援センター長)
- 4 内容
  - ・いろいろな聴力検査と検査結果について
  - ・耳のしくみとその機能について
  - ・遺伝子検査の重要性について 等
- 5 参加費 **無料** (事前に電話、FAX、メール等でお申し込みください)

## みみよい情報

### ◇携帯型振動式目覚まし時計

寒くなってくると、朝、あたたかな布団から出にくくなったり、つい「二度寝」をしてしまうこともありますね。

「中学生活に向けて、自力で起きる習慣を…」と願う保護者からご相談をいただくこともあります。

「振動式目覚まし時計」は、まくらやシーツの下に置いておけば、時計自体が振動して時間を知らせます。スヌーズ機能の他、温度計や非常時にはLED懐中電灯になるものなどあり、聴覚障害のある方だけでなく、多くの方に利用されています。



## 長野県難聴児支援センター

TEL:0263-34-6588

FAX:0263-34-6589

Mail:mimi@shinshu-u.ac.jp

住所：松本市旭 2-11-30 松本旭町庁舎 2階

支援療育員：丸山秀樹

※ご相談、お問い合わせ等  
お気軽にご連絡ください

